



羅針盤 No.20

東港金属株式会社
 東京都大田区京浜島2-20-4
 電話 03-3790-1751
 URL <http://www.tokometal.co.jp>
 (見学受付)
 電話03-3790-1751 又は 各営業担当

タイ国の洪水被害は収まりを見せておらず、日系企業の被害は莫大な数字になっています。タイ国が世界中に供給している製品・部品そして食品の、種類・シェアの大きさには驚かされていますが、洪水の影響で供給が中断し、市場では新製品の発売の目処が立たないようで、今さらながら世界はつながっていること、資源の大切さを実感させられます。

身の回りの不要となっているものも、捨てることをかっこ良いとせず、再生できるものは可能な限り利用して資源を循環させましょう。



東港金属株式会社は、残された資源をできる限り循環させるよう、処理をお受けした産業廃棄物のリサイクル率を上げるために、輸送方法や処理工程の工夫をしています。身近なリサイクルパートナーとして、お気軽にご相談ください

鉄・非鉄スクラップ・市況からの11月予測

営業部 Y の考察

★羅針盤



鉄スクラップ → 考察) 10月は、予想が外れどんどん下がりました。指標となる東京製鉄宇都宮工場の特級価格が37,000円/トンでスタート、10月29日時点では28,000円/トン。何と9,000円/トンも下がりました。無理した価格では買わなくなったのが現状です。国内外とも先行き不透明です。11月も下がると思われます。



銅 → 考察) 中旬までは良かったのですが、後半以降LMEが数百ドル 単位で乱高下し、最終的には8,000ドル/トンを超えました。欧州債務危機への不安が一服したため価格が上がったと思われれますが、今後どうなるかわかりません。円高も進んでいることから、11月は横ばいか下げになると思われれます。

アルミ → 考察) 10月は、LME2200ドル/トン台でスタートし、月末で2240ドル/トンと殆ど変わりませんでした。スクラップの需要に関しては、Cプレスなどの裾物は下がっています。11月は横ばいでしょ。

プラスチック → 考察) 原油は上がってきていますが、円高や海外の重要が下がっていることから、11月は、横ばいか下げになると思われれます。

10月予測の自己評価	鉄スクラップ ×	アルミ ○
	銅 ×	プラスチック ×

★羅針盤

放射線量受入基準について

福島原発事故の影響で、東日本各地の放射線被害は、一次産業、二次産業にも大きな被害をもたらしています。「鉄スクラップ」「鉄鋼製品」を扱っている当社も、現在暫定受入基準値を、0.3μSv/hr(マイクロシーベルトパーアワー) = 300nSv/hr(ナノシーベルトパーアワー)と設定させていただいております。

放射線が生物に及ぼす効果は、放射線の種類やエネルギーによって異なります。単位としてはシーベルト(Sv)が使われます。

$$\begin{aligned} 1\text{シーベルト(Sv)} &= 10^3\text{ミリシーベルト(mSv)} \\ &= 10^6\text{マイクロシーベルト(}\mu\text{Sv)} \\ &= 10^9\text{ナノシーベルト(nSv)} \text{ です。} \end{aligned}$$

なお、「ベクレル(Bq)」という単位もよく言われていますが、シーベルトは、放射線の人体に与える影響度を示す単位 であり、ベクレルは、その物質が1秒間に放出する放射線の量 のことです。

鉄スクラップの放射線検出測定値については、国の基準値がないため、鉄鋼連盟内部としての隔離基準は5μSv/hrですが、一般的に電炉メーカーは0.5μSv/hrという基準を出していると聞いています。今回の福島原発事故のあと、鉄スクラップも放射線汚染されているという風評で、中国への輸入基準が厳しくなっていることから、日本での検査で0.3μSv/hr以上の数値が出たら中国向けには不合格とされています。

このような状況を解決し、東日本震災を起因とするスクラップを処理するために、一日も早く国の安全基準を決め、具体的な指針を出して欲しいということが、毎日スクラップを受け入れている処理業者の切望です。

放射線とは何でしょうか、放射能が出す目には見えない光のようなもの(例えば紫外線のように目に見えないもの)で、多量に浴びると死に至ります。チェルノブイリ事故、広島や長崎への原爆投下で放射線の怖さは知っていますが、詳細の知識は少なかったのではないのでしょうか。しかし直接被爆ではなくても、人間はどこに住んでいても自然界から常に放射線を浴びているのです。土壌から、食物から、空気中に含まれているラドンから、そして検診時のレントゲンからも放射線が出ているのですから、地球上のどこにいても常に放射線をあびていることとなります。それでもすぐに病気にはなりません。

ただこの度の福島原発事故は、短期間に多量の放射線を浴びることで起こると予想される身体への影響(特に子供たちが受けるダメージ)が懸念されております。心配のない数値も発表機関によっては差があり信頼性が不透明ですが、早く除染の範囲が広がり、安心して子供が遊べるようになってほしいと思います。



チャレンジ人生

(第4回)

前回は、大阪の吉本興業の花月に関して、お話ししましたが、今回は、横山やすしさんにお世話になった話をします。

当時、「雲の上の人」と思っていた横山やすし師匠と初めてお会いしたのは、「横山やすし漫才教室」でした。今から26年前です。

当時、やすし師匠は、コンビではなくピンで活動していました。漫才教室は、1回/月新宿の劇場で行われました。日時は、全てやすし師匠のスケジュールにより決まりました。漫才教室は、毎回10組位新人か、キャリアはあるが売れないコンビが出演し、順位を決めます。ネタに関しては、やすし師匠が批評します。本番中はそれほど怒りませんが、打上げではかなりエキサイトして怒鳴ります。

もちろん、酒が入っています。御存じの方もいると思いますが、やすし師匠はかなり我儘でした。ビールはキリン以外はのみません。入った店が、アサヒやサッポロだと大変です。すぐに外に出てキリンビールを買いに行きます。その役目は私でした。その当時は今みたいコンビニがありませんでしたので、なかなか買えませんでした。

打ち上げの席でのやすし師匠は怖かったです。ダメな芸人は、とことんこけ降ろします。泣く人もいました。このダメ出しが延々5時間は続きます。その間にやすし師匠はどンドン酒がまわりエキサイトしますし、私語は禁止です。他のお客が声をかけると大変です。喧嘩になってしまうこともよくありました。

たまた、ダメだしの内容は、鋭かったです。さすが一世を風靡した芸人だけのことはありました。出演したコンビのネタをよく見ていました。次に出演した際、「この前言ったことが分かっていないのか？」などとそのコンビのネタや間の採り方等指摘していました。ここまではっきり言ってくれる先輩はいません。本当に真剣に見てくれているのだと痛感しました。(言い方はきついくけど)。

吉本の仕事で、私は大阪に行くことが多かった為、やすし師匠とは数回2人で飲みに行ったこともあり。飲んでタクシーに乗るとドライバーの頭を後ろからけったり、町で声を掛ける人に怒鳴ることもしばしばありました。しかし、酔っぱらうと決まって言うことがありました。「ワシは漫才が好きだ。キーボーと漫才がやりたいんや」と言って泣いていました。本当に漫才の事が好きだったのです。

当時、相方の西川さんは参議院の仕事が中心でした。そんなやすし師匠に、私がコンビを抜ける事を報告に行ったとき「何故、我慢が出来ないんだ。アホかお前は。」と怒鳴られました。私が最初に最後に怒られた言葉です。他人の事を考えてくれる人は本気でしかってくれます。煽ったり、変に褒めることは本当に心配してくれていないから言えるのです。叱られているのが華なのです。今回はここまで。次回は、電撃ネットワーク結成に関して触れてみます。ではまた。

山本 兼嗣(営業部 課長)